

全ての政策は命をつなぐために



自由おおた 2023年1月号

緑の党

ゆういちろう

やすだ雄一郎

事務所 〒146-0093 大田区矢口 1-20-2-101

TEL 03-3758-2758 fax03-3758-6525

大田区民の皆さん、こんにちは。

私は大学在学中、大切な親友を病気で失い、大変ショックを受けました。自分らしく生きるとは何かと考え、大学を中退し、好きなギターを片手に自分探しの旅に出ました。その中で、無農薬の野菜を作り、脱原発や平和運動とかかわり、野呂恵子さんと出会いました。そしてずっと応援してきました。野呂恵子さんは、区民の人権が尊重され、ひとりひとりが輝く区政のために、東奔西走していました。その先輩の情熱と行動力にいつも感銘を受け、少しでも近づいていけたらと勉強させてもらってきました。

この度、そのバトンをしっかりと受け取り、その遺志を受け継いで、ここ大田区で頑張る所存です。どうぞ大田区民の皆様のご指導とご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

今、コロナ禍とウクライナ戦争で、物価の上昇、中小企業の倒産、失職などかつてない厳しい社会に直面しております。そんな時は、誰も苦しい生活改善に税金を向けてほしいと願っておりますが、政府は、軍事費を倍増させ、敵基地攻撃能力を持つために、増税を計画しています。大変危険な道です。

こんな社会だからこそ、区民ひとりひとりが安心して生きていける区政が求められています。野呂恵子さんは、「すべての政策は命をつなぐために」と訴え続けてきました。私も、そのために全力で、頑張ります。



大田区政に尽力した野呂恵子

緑の党 やすだ雄一郎と語る会

2023年1/29(日) 午後1時30分～

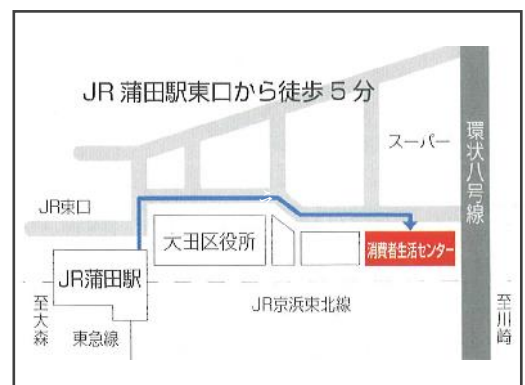
消費者生活センター TEL03-3736-7711

(大田区蒲田 5-13-26-101)

「安心・安全な食品の提供と

学校給食の無償化を」

学校給食に無農薬の食材を取り入れて、すべての子ども達の健康と命を守っていくために、どのように運動を進めていくのかともに考えていきましょう。



ひとりひとりが輝いて生きる大田区に やすだ雄一郎と共につくっていきましょう！

誰もが安心して暮らすために

- ◆高齢者・障がい者・子どもなど弱者を支える防災のまちづくりを
- ◆低所得者や高齢者が安心して住める家賃の補助を
- ◆インボイスの中止を
- ◆中小企業の支援で、安心して働けるまちを

※私は、障がい者のグループホームで働いています。弱者と言われる人たちが安心して地域で暮らせる社会こそ地域の本当の姿だと思います。また、高齢者の孤独死が最近増えています。戦争を乗り越えてこの日本を作り上げてきた人々の尊厳を守り、支えるまちを作ります。そして、ものづくり大田のまちの活性化を目指し、安心して働き、住み続けられるまちを目指します。

食の安全と緑のまちづくりのために

- ◆子どもを守る権利条約の制定と子育ての支援拡充を
- ◆安心・安全な食品の提供と学校給食の無償化を
- ◆脱原発で再生エネルギーの普及を

※次世代の健康や安全を守ることは、私たちの責務。子どもを安心して生み育てられることができるまちづくりを目指します。そのためには、危険な原発は不要です。



平和・人権のために

- ◆武力で平和は作れません。憲法を生かし、戦争のない平和で文化的なまちを目指します。
 - ◆誰もが政治に参加し、開かれた区政を目指します。
- ※軍備増強や増税ではなく、税金は生活保障のために使うべきです。ひとりひとりの声が区政に届くまちを目指していきます。



米軍機の部品が墜落した沖縄県宜野湾市の
緑ヶ丘保育園で平和の歌を歌うやすだ雄一郎

やすだ雄一郎プロフィール

- ・1981年 41歳 岐阜県生まれ
- ・岐阜経済大学中退
- ・20歳の頃から無農薬野菜に興味を持ち、千葉県野田市で農業に従事。その間、野呂恵子さんに出会い、政策に感銘を受け、以来20年選挙活動を共にしてきた。
- ・緑の党大田地区委員長
- ・党青年部長
- ・安心安全な食品広める大田の会代表
- ・マールハートバンドを結成。反戦、脱原発、九条を守ろうと、歌を通して広く発信する活動を行っている。
- ・アジア平和友好の道チロンヌブ副代表